

事業番号	07 04 02	事業改善シート(令和4年度実施事業分)			□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検		
事業名	地域産業の活性化事業	部局	産業労働部	課・室	産業技術課		
		実施期間	S60 ~	E-mail	sangi@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標	①付加価値を高め、経済成長を実現						
総合的に展開する重点政策	2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成	2-2 地域内経済循環の促進	2-5 地域に根差した産業の振興		6-2 信州のブランド力向上と発信		

1 現状と課題

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 企業等が行う地域資源を活用した製品開発を支援することにより高付加価値化を図る。 後継者の育成・確保、県内外の販路開拓など伝統的工芸品産業の取組を総合的に支援し、当該産業の活性化を図る。 	
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源製品開発支援センターにより地域資源を活用した高付加価値の新商品開発を支援 伝統的工芸品の技術伝承講習会により後継者を育成・確保するとともに、展示会、商談会により販路開拓を支援 	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> 生活様式の変化による販売不振に対応するため、魅力ある商品化への支援が必要 伝統的工芸品産業における後継者不足は依然として問題であるが、産地の技術に触れる機会がまだまだ不足 新型コロナウイルス感染症の影響、近年の消費者動向の変化等も考慮し、中長期を見据えた支援が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源製品開発支援センターにより魅力的な新商品開発を図る。 伝統的工芸品の展示会の開催、県内外展示会への出展を支援することで販路を拡大するとともに、地域の優れた伝統技術・技能を講習会を通じて伝承し後継者を育成 コンサルタント等を利用して、時代の変化を考慮した伝統的工芸品のリブランディングを行う

2 令和4年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域資源製品開発支援センター事業による地域産業活性化 総合プロデューサー、デザイン専門支援員を設置して、地域資源を活かした魅力的な新商品開発を支援 ✓ 販路開拓・新商品開発、後継者の育成確保などによる伝統的工芸品産業の振興 長野県伝統工芸品展を開催、県内外の展示会へ出展、百貨店での常設販売 熟練技能者を講師として技術伝承講習会を開催 ✓ 伝統的工芸品のリブランディングを支援 地域資源製品開発支援センター事業に専門家を派遣して、魅力的な新商品開発を支援 コンサルタントによるブランド戦略策定 インターンシップ等による若年世代への魅力発信
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	<p>【ゼロカーボン】地域資源を活かし、環境に優しく、長く使える商品開発を支援</p> <p>【ゼロカーボン】自然素材が原料、製造は手作業(製造工程にCO2を伴わない)かつ長く使用できる伝統的工芸品の普及を促進</p> <p>【学びの県づくり】伝統的工芸品の魅力をPRすることで長野県の風土や歴史を学ぶきっかけ作り</p>

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]								区分(単位:千円)				
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値	R2年度	R3年度	R4年度	
1	地域資源製品開発支援センターによる商品化件数	件	22	↓	19	↑	20	20	前年度繰越			
2	技術伝承講習会参加者数	者	76	↓	57	↑	60	60	当初予算	23,306	24,500	要求 予算案
3	展示会・商談会参加産地数	産地	31	↓	4	↑	20	30	補正予算	9,614	37,659	
4	伝統的工芸品産業の新規就業者数	人	3	→	3	→	3	3	合計(A)	32,920	62,159	要求 予算案
5									うち一般財源	20,888	22,266	要求 予算案
									決算額(B)	27,999		
									職員数(人)	4.5	4.5	
設定理由	成果指標	1.地域資源を活用した新商品開発の成果を把握するための指標(伝統的工芸品含む) 2.伝統的工芸品の技術継承がどの程度図られているか把握するための指標 3.伝統的工芸品の販路開拓がどの程度図られているか把握するための指標 4.伝統的工芸品産業における人材確保がどの程度図られているか把握するための指標										
	目標値	1.年間の支援件数を100件としてその20%を商品化 2.県下28産地のうち、1産地あたり2人以上の参加とする 3.県下28産地のうち、1産地あたり1回以上の参加とする 4.3人/年ずつ確実に後継者候補を確保していく										

予算要求からの主な変更点	伝統的工芸品Reブランディング支援事業の製品開発支援について、別事業において実施可能であるため事業を統合し実施
--------------	---

事業番号	07 04 02	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検		
事業名	地域産業の活性化事業		部局	産業労働部	課・室	産業技術課

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
1	地域資源製品開発支援センター事業費	13,773 千円	14,927 千円	要求 14,123 予算案 14,123 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	企画から商品化までの総合プロデュース	直接	総合プロデューサーを配置し、地域資源活用に取り組む企業に対し、企画から商品化までを支援		

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
2	伝統的工芸品産業後継者育成・販路開拓支援事業	8,849 千円	8,889 千円	要求 8,478 予算案 8,478 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	伝統工芸技術伝承講習会	委託	伝統工芸士、卓越技能者などの熟練技能者等を講師に伝統技術・技能の継承や多様な担い手確保を図る技術伝承講習会を開催 (委託先:長野県中小企業団体中央会)		
2	新規就業者の定着促進支援	補助金	伝統的工芸品の製造に携わる新規就業者を対象として、その育成費用を助成 【補助先:3事業者】		
3	展示商談会の開催・出展	委託	・第38回長野県伝統工芸品展を井上百貨店(松本市)で開催 (委託先:長野県中小企業団体中央会) ・信州ハンドクラフトフェスタ2022(長野市、エムウェーブ)に出展 (委託先:長野県中小企業団体中央会)		

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
3	伝統工芸品支援事業費	684 千円	684 千円	要求 684 予算案 684 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	伝統的工芸品月間事業負担金	負担金	伝統的工芸品月間(11月)を中心に伝産関係機関、国、県が一体となり、作り手を使い手が直接対話、交流できる場を設けて、伝統的工芸品の普及、PRを図る 【全国大会:秋田県、地区大会:東京都(負担先:伝統的工芸品産業振興協会、関東ブロック伝産事業実行委員会)】		

事業番号 07 04 02 **事業改善シート (令和4年度実施事業分)** 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	地域産業の活性化事業	部局	産業労働部	課・室	産業技術課
-----	------------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
4	伝統的工芸品Reブランディング支援事業	0 千円	0 千円	要求 12,405	予算案 10,515 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)
1	産地コンサルタントの設置	委託	産地に専門家を派遣し、個々の産地が抱える課題や強みを抽出・分析、将来の自走化に向けた戦略を策定
2	情報発信インターンシップの開催	委託	工房インターンシップを開催。参加者が自身のSNS等で産地の魅力を発信、若年層への情報発信基盤を強化
3	魅力発信拠点の開設	直接	ながの東急百貨店で伝統的工芸品を展示・販売、消費者・バイヤーに向けて魅力発信を行う。